

# めぐみ行動日誌 (2018.1.1~3.31)

議会関係所属委員会／厚生保健委員会、行財政改革・大都市制度調査特別委員会、議会改革検討会議委員  
議会運営委員会オブザーバー、基地対策協議会代表委員

## 1月

- 11~12日 議会改革検討会議視察 (千葉市、会津若松市)
- 13日 ステキにつながるまちづくり in 磐田



- 14日 子どもの貧困対策 全国47都道府県キャラバン in 岐阜
- 18日 地方議員特別セミナーin敦賀市
- 20日 ギフテッド教育勉強会(大阪)
- 23~24日 都市計画学会(東京)
- 25日 静岡政策研究会(静岡)
- 26日 配慮の必要な子の放課後を考える円卓会議
- 27日 みんなのとみつかプロジェクト まち知るワーク
- 15日 第8回遠州鉄道と浜松の福祉を考える会の情報交換会

## 2月

- 20~23日 2月会議
- 22日 「発達級の子どもの卒業後について」円卓会議
- 24日 みんなのカルチャースクール 食の安全・農業編
- 25日 ほっとけない!子どもの貧困2018フォーラム

## 3月

- 10日 めぐみと一緒に「わいわい 浜松市予算を読む会」

参加者の自己紹介から始まり、予算の概要、区の再編、防潮堤予算総額、水道のコンセッションについて、福祉予算についてなどをめぐみから説明。区の再編、ロコモーショントレーニング、包括支援センターのあり方など、活発な意見が飛び交った。「市民協働で築く未来へかがやく創造都市」という都市の将来像だけど、予算からは見えないねという厳しい意見もいただいた。



- 11日 インクルーシブ教育を進めるための講演会
- 12日 行財政改革・大都市制度調査特別委員会

17~18日  
いとへのまち (浜松注染ゆかたや遠州木綿に気軽に触れるイベント)  
右写真:遠州綿紬の着物と遠州織物の羽織を着て。



### 【円卓会議 コーディネートします】

行政は縦割り、でも私たちの生活は丸ごと。そこで、今ある課題を解決していくためには、行政の関係する課や機関と市民を一同に会する「円卓会議」が有効です。行政(民間企業もあり)と市民をつなぎ、コーディネート役として、議員めぐみを使ってください。相談にのります。



\*今年で8回目の遠州鉄道、浜松市と浜松の福祉を考える会の円卓会議(情報交換会)。どう生きやすい(移動しやすい)街になるのかを一緒に考えるいい機会となりました。

### 一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。  
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

#### めぐみProfile

- 1961年 浜松市鴨江生まれ、射手座B型  
静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。  
自動車販売会社にて、女性営業職第1号としてバンバン車を売る。長男出産後、女性、子育て、まちづくりの市民活動に参加。
- 99~2011年 浜松市議会議員
- 2011年~ 子ども・若者支援のNPOスタッフ
- 2015年~ 浜松市議会議員(中区選出)4期目



# 浜松Happy化計画 レポートPart2

Happy plan for Hamamatsu!!



## 軽度だからといって 生きやすいわけではない! ~障害者のバス・タクシー券見直し~

これまで、身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳を持っている人には、等級に関わらず、年間7000円のバス・タクシー券が支給されていた。平成30年度、軽度の障害者へのバス・タクシー券が削減されるということで、「制度の継続を」「等級ではなく、所得制限で」と2つ団体と1個人から、議会の厚生保健委員会へ要望書が提出された。

軽度だからといって、必ずしも一般就労や社会参加が保障されているわけではない。これまで軽度の人へのバス・タクシー券交付によって、彼らの社会参加を応援する意義があった。なくなってしまうことで、彼らの社会参加の目をつむことに繋がることになる。

そこで、厚生保健委員会では、全委員で予算に「附帯決議」をつけることを決めた。  
※「附帯決議」には強制力はないものの、市は尊重しなくてはなりません。

### 附帯決議の概要

- 1、これまでのバス・タクシー券の利用状況など障害者の外出の実態を考慮した上で、改善できる点がないか検討すること。
- 2、軽度障害者への外出支援の継続を視野に入れた検討や移動支援のさらなる拡充、福祉事業所への通所の際の交通費補助などの施策の検討をすること。

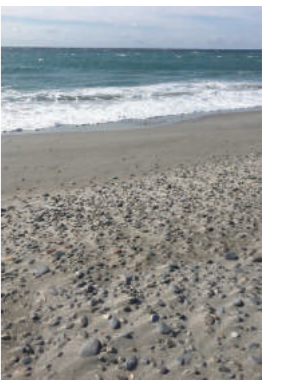
## 野球場建設は、環境に与える影響を考慮してから ~新野球場構想~

一般会計予算については、反対した。篠原の野球場建設のための用地測量、物件調査の予算(2770万円)が含まれていたからだ。反対理由は2つ。

- ①基本計画ができていないため、県がどのような野球場を想定しているのか明らかになっていないなかで、用地測量、物件調査予算が計上されることは納得できない。
- ②ナイター照明に使われるLED光が、ジャイアントパンダと同格の絶滅危惧種であるアカウミガメやその他の貴重な動植物に与える影響が大きい。

子ガメは、紫外線等の波長の短い光に誘引されるため、大容量の光が海岸に漏れ出た時、孵化した子ガメは陸に向かってしまい、海に戻るができなくなってしまう。こうした致命的な問題を解決するためには、ドーム型球場にするか、ナイター設備を設けず、光の影響をコントロールするしかない。自然環境を一旦悪化させると、回復を望んでも長い時間と費用がかかってしまう。

※一般会計予算は賛成多数で可決された。



浜松市議会議員 中区選出 鈴木めぐみ

### 編集・発行 めぐみ応援・浜松市政向上委員会

浜松市東区半田山 2-5-10 TEL/053-431-1511  
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-544-5451  
HP/www.megumi-happy.net

### 鈴木めぐみ自宅

浜松市中区曳馬 6-5-17  
TEL/090-8672-8534



※めぐみ応援会員募集中・内部資料

予算審議から

【介護保険】

現在、市内に「地域包括支援センター」(高齢者相談センター)が22カ所あるが、今後3年間増やす予定はないか? 増やさないが、人員配置を増やしていくとの答弁。現在3名体制を、第1号保険者が6000人を以上超えた場合、2000人ごとに1名追加する。

高齢者人口12,000人も一つの圏域で運営しているところがあり、大変。地域との連携を考えると、連合自治会の圏域と同じにしたらどうか。



【高齢者福祉】

老人福祉センターの複合化(子育て支援などの機能を追加するなど)などの検討状況はどうか。平成29年度、利用者にアンケート調査をした。30年度には、方向性を決めていきたい。

「こうします」という一方的な説明ではなく、ぜひ対話をして進めてもらいたい。最近の浜松市って、ちょっと強引なんかも。



【障害者福祉】

各地で、就労継続支援A型事業所が破綻したり、やめたりしている。国の基準を厳格に運用しようとする、やっていけない事業所が出てくる。経営状態のチェックだけでなく、行政としてできる支援・協力をして欲しい。

事業所、居場所がなくなって困るのは、障害のある人たちだ。



【区の再編】

区の再編の有無、区の数、組織、市民サービスなどについて、議会の「行財政改革・大都市調査特別委員会」で議論をしている。

4月以降、市民の意見を聞くということだが、市民の関心が薄いことが心配。再編ありきではなく、デメリットもしっかり伝えて欲しいと要望。あなたの意見も聞かせてください。



区の再編を実施する場合の今後のスケジュール(予定)	
●2018年	●2019年
4月 意見聴取のための案確定(議会の特別委員会)	2月 再編有無、行政サービス提供体制決定(2019年5月 元号変更)
4~6月 意見聴取(区協議会、自治会連合会など)	●2020年
「最終案候補作成」	1月 新体制に移行(区の再編)
7~9月 パブリックコメント	

【市水道の民間委託検討について】

下水道に続いて、浜松市は水道のコンセッション(施設の所有権を市に残したまま、運営を特別目的会社として設立される民間事業者が施設運営を行うこと)を検討している。

市民の不安の強い水道のコンセッション導入だけに、市職員を呼んでの出前講座を企画したい。参加希望の方はご連絡をください。



学習障害のある子どもに教室でのタブレット利用が可能に。

●一般質問の成果

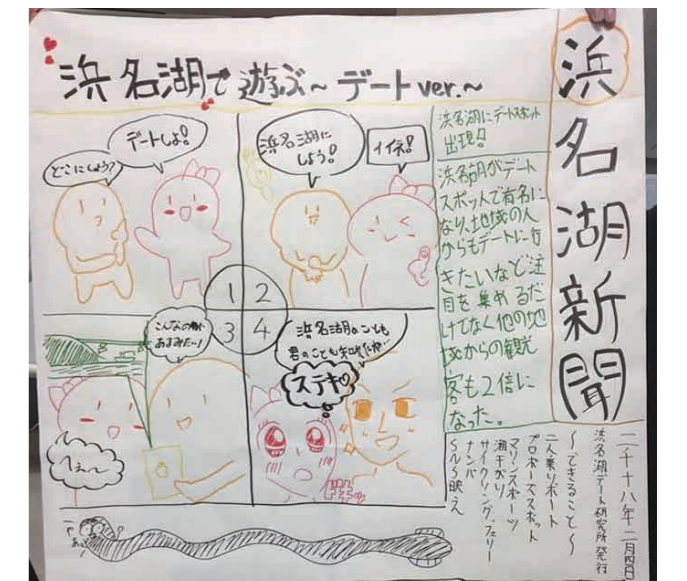


平成28年11月議会で、「学校内での合理的配慮として、LD児、ディスレクシアなどの児童・生徒への個別支援として、タブレット端末などのICT活用を認めていく考えはあるか」と花井教育長に質問。「発達障害児や特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者からタブレットなどのICT機器について利用の申し出があれば、対応していきたい」と答弁。

その成果として、東区のある小学校で、予定表の撮影などでタブレットの利用が可能になった。この一歩が、他の読み書き障がいのある子どもたちに多くの学びの機会が与えられますように。

若者の政治参加を進めています!

- 2月4日 はままつ若者円卓会議に参加  
市内の高校生、大学生と議員が知り合い、浜松の街を考えるワークに参加。私のグループは、浜名湖×あそびがテーマ。ワイワイの意見交換のあと、若者のデートに浜名湖を使ってもらいたいと、四コマ漫画、広告付きの新聞形式にまとめて発表。今回出た意見、言っておしまいにせず、具体的に形(要望書、提案書、事業化など)にして欲しいな。応援します。
- 2月18日 浜松学生ボランティアネットワークフォーラムに参加
- 3月25日 浜松若者政治バルに参加  
中学生から社会人の若者が、県・市議会議員とグラス片手に(未成年はもちろんソフトドリンク)、浜松の課題や未来を語る企画に参加。人口流出と女性、浜松のPR、アートとものづくりなどについてざっくばらんに話した。



\*学生さんたちが作成した提案

数字は語る! 7億円

平成30年度予算は、事業見直しで7億円削減した。直虎プロジェクト、テレビCM、夏休みの学校プール開放、軽度障害者のバス・タクシー券などを削減。また、借金市民一人あたり57万9000円に。(前年度より1万円減)

777億円 266億円 40億円

\*今後大型事業目白押し 777億円=新清掃工場(2024年完成予定・天竜区青谷)、266億円=浜松医療センター新棟建設(2023年完成予定)、40億円=市民音楽ホール(2020年完成予定・北区都田)